

科目名(Subject)	行政法研究（基本） （Administrative Law（Basic））		
単位数(Credits)	2 単位	開講時期	後期
担当教員名 (Name)	齋藤 健一郎 (SAITO Kenichiro)	研究室番号 (Office)	518
Office Hours	随時(事前にメールで連絡をすること)		
<p>1. 授業目的・方法(Course objective and method) 行政法研究（基本）では、行政法の“基本的”論点を取り上げて、調査、深い理解、批判的・多角的な分析を行うとともに、各論点につき現代的な意義を考えることを目的とする。 演習形式で、行政法の学術文献を読み進める。受講者は、文献を読み、レジュメを作成し、報告を行う。その上で、教員も交えて、質疑・議論を行う。</p> <p>2. 達成目標(Course Goals) 行政法の“基本的”論点について理解をするとともに、批判的・多角的に分析できるようになる。</p> <p>3. 授業内容(Course contents) 第1週～第15週 報告・議論</p> <p>*授業内容の詳細（報告者や文献の箇所など）は、履修者数が確定した後に決め、掲示もしくは履修者全員にメールで連絡をする。</p> <p>4. 事前学修・事後学修(Preparation and review) (事前学修) 文献を読む。受講者は全員、質問事項や各自の考えを <u>manaba</u> で記入すること。 報告者は文献の内容についての<u>レジュメ</u>を作成する。 報告者は、<u>論文中の参考文献</u>をできる限り調べること。 (事後学修) 授業時の議論内容を踏まえて、文献を読み直す。 報告者は、可能であればレジュメを修正する。</p> <p>5. 使用教材(Teaching materials) 現代行政法講座 第1巻 現代行政法の基礎理論 第2巻 行政手続と行政救済 第3巻 (近刊) 第4巻 自治体争訟・情報公開争訟</p> <p>*コピーを配付する。 *上記は論文集なので、その中の基本的な内容の論文を選び、報告・議論をする。</p> <p>6. 成績評価の方法(Grading) 授業への参加度（質疑・議論の様子）、報告内容（50%） レポートの内容（50%）。</p> <p>7. 成績評価の基準(Grading Criteria) 秀（100～90）：①文献の内容を過不足なく要約でき、②議論において批判的な検討および主張ができ、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができている場合。 優（89～80）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができている場合。 良（79～70）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析のみが</p>			

できているか、または自身の主張のみができている場合。

可（69～60）：上記①～②の何れかを満たすが、③レポートの内容が不十分な場合。

不可（59～0）：上記①～②を何れも満たしていない場合、または、③レポートの内容が不十分な場合。

8. 履修上の注意事項(Remarks)

履修を希望する場合には、履修登録の期限前までに齋藤にメールで連絡をして下さい。